

八王子市障害者地域自立支援協議会
権利擁護推進部会 平成 31 年度 第 1 回会議録

(開催日時) 平成 31 年 4 月 24 日(水) 10:00-12:00

(開催場所) 八王子市役所第 6 委員会室

(出席者) 土居、夢田、根間、竹澤、田丸、石井、小林、高江洲、宮本、柏原、
障害者福祉課(三谷、濱尾、小山)、事務局(原山)

(欠席者) 伊藤

(傍聴者) 中西、和田(※5 月 31 日の全体会で承認)

(記録) 原山

1. 開 会

2. 平成 31 年度の委員構成とグループの確認

新任の和田委員はじめ各委員の自己紹介。商業関係者については商工会に打診したが、すでに調整委員会、全体会に人員を割いてくれていることもあり難色を示された。前任の伊奈氏が所属していた商店研究会へ再度、後任の打診をするか否かについては今後検討をしていく。全体会の委員に女性経営者の会所属の方がおり、その方へ選任を相談するのはどうか等の提案が出された。養成講座、好事例の収集等を踏まえ、商業関係者の参加は可能な限り検討したい。

3. 各グループ内での協議と共有

・ A グループ：虐待防止法研修[5 月 30 日(木)]

松岡委員の後任である和田委員は研修 PT へ。今回は夜間の開催となる。事例は 2 年前に使用した事例を基に修正を行う。ファシリは担当委員の他、数名を追加調整する。

・ B グループ：いちよう祭り[11 月 16 日(土)・17 日(日)]、部会活動報告会

既存の団体との連携を模索してイベントの開催をできないか検討を続けていく。中央図書館での展示については、実際に使用できる部屋の規模が小さいこと等を鑑みて今回は見送ることにする。

・ C グループ：障害者サポーター養成講座・好事例の活用・ガイドブック

PT 内でメーリングリストを作るなどして 7 月くらいまでに 3 回ほど PT 会議を開催する。講座の骨格、資料作成、会場確保等の実務を進める。養成講座の開催時期は来年 1 ～ 3 月を想定している。

4. その他

・ 障害理解に関する授業の実施状況について

対象は市内の市立小学校 4 年生で対象は 70 校、そのうち回答を得られたのは 67 校、未回答は 3 校だった。未回答の理由として 4 月の副校長等の交代により前年度の把握が追い付かず、回答に至らなかったとのこと。

授業実施の有無について、未実施の学校が 1 校あるが、障害のみにテーマを絞った授業を実施することができなかったとのこと。また、ガイドブックの使用については、活用しなかった主な理由として他の教材を使用、交流授業のため、内容が対象児童には難しいと判断、クラス内に発達障害児がおり記述の内容によって混乱を生じさせてしまうのではないかと心配したため(※ 1)。実際に使用されたケースでは、導入時に目を通して学習の必要性を確認するため、授業の補助資料、ゲストティーチャーによる授業の補助資料としての活用が多かった。学習指導案の活用については約 7 割の学校で使用されなかった。別の指導案をもっていること等、他の方法をすでに学校側がもっていることがその主な理由だった。また事業者一覧の活用としてはゲストティーチャーの検索、社協へ依頼をする等の情報源として活用されていた。(※ 1. この配慮が適切な配慮であったのか否か、今後、該当する学校に追確認を行いたい。)

ガイドブック、学習指導案、事業者一覧等の活用において、作成過程でも協働してきた経緯を踏まえて今後も教育委員会とともにモニタリング、改訂など連携していきたい。また、今後のモニタリングの方法として、今回はガイドブック等を活用したか否かに限定されたアンケートになっているが、学校独自のネットワーク、指導案を活用しての授業実態について把握するためにもよりオープンな「障害に関する授業を実施したか否か」という聞き方の方がいいのではないかな等の提案が出された。

- ・ 出前講座の依頼について

先日の部会活動報告会に参加された民生委員より障害当事者や差別禁止条例について、より詳しく学ぶ機会を設けたいとの申し出があった。日程は 8 月 28 日(水)、会場は南大沢市民センターで、参加者は 65 名程度とのこと。民生委員としての関わり方(接し方)などについて考える機会にしたいとのこと。7 月 17 日(水)頃には先方から質問一覧等の資料を受け取る予定。

- ・ 令和元年度第 2 回権利擁護推進部会

令和元年 6 月 21 日(金) 10:00-12:00 於 八王子市役所 702 会議室

5. 閉会